

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P252～257参照

高等部【情報】目標

情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、身近にある情報機器の操作の習得を図りながら、問題の解決を行う学習活動を通して、問題を知り、問題の解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。	(2) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	(3) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて知る。	イ 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。	ウ 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	イ 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	ウ 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

■ 特別支援学校高等部学習指導要領(H31)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 高等部2段階の内容を習得し、一部、高等学校や小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 高等部の段階の指導が難しい場合は、中学部、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P252～257参照

高等部【情報】1段階 ※必要に応じて設けることができる

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について知り、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人の関わりについて知る。	イ 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を活用する力を養う。	ウ 身近にある情報や情報技術を活用するとともに、情報社会に関わろうとする態度を養う。

内容

内容	1学年	2学年	3学年
<p>A 情報社会の問題解決: 身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法に着目し、解決に向けた活動</p> <p>ア 知識及び技能 (ア) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを知り、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けること。 (イ) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて知る事。 (ウ) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について知る事。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法について考える事。 (イ) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて考える事。 (ウ) 身近にある情報や情報技術の活用について考える事。</p>			
<p>B コミュニケーションと情報デザイン: 身近なメディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動</p> <p>ア 知識及び技能 (ア) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて知る事。 (イ) 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を知る事。 (ウ) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を知り、表現する基礎的な技能を身に付ける事。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を考える事。 (イ) コミュニケーションの目的に合わせて、必要な情報が伝わるような情報デザインを考える事。 (ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて、表現の仕方を工夫する事。</p>			
<p>C 情報通信ネットワークとデータの活用: 情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目して、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを利用し、問題を知り、問題の解決に向けた活動</p> <p>ア 知識及び技能 (ア) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について知る事。 (イ) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について知る事。 (ウ) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理する基本的な方法について知り、基礎的な技能を身に付ける事。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考える事。 (イ) 情報システムが提供するサービスの利用について考える事。 (ウ) データの収集、整理及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行する事。</p>			

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P252～257参照

高等部【情報】2段階 ※必要に応じて設けることができる

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 効果的なコミュニケーションの方法や、身近にあるコンピュータやデータの活用について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解する。	イ 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	ウ 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。

内容

	1学年	2学年	3学年
<p>A 情報社会の問題解決: 身近にある情報や情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法に着目し、解決に向けた活動</p> <p>ア 知識及び技能 (ア) 身近にある情報やメディアの基本的な特性及びコンピュータ等の情報機器の基本的な用途、操作方法及び仕組みを踏まえ、情報と情報技術を活用して問題を知り、問題を解決する方法を身に付けること。 (イ) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解すること。 (ウ) 身近にある情報技術が人や社会に果たす役割と及ぼす影響について基本的な理解をすること。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 目的や状況に応じて、身近にある情報や情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を知り、問題を解決する方法について考えること。 (イ) 情報に関する身近で基本的な、法規や制度及びマナーの意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについて、それらの背景を捉え、考えること。 (ウ) 身近にある情報や情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の在り方について考えること。</p>			
<p>B コミュニケーションと情報デザイン: 身近なメディアとコミュニケーション手段及び情報デザインに着目し、目的や状況に応じて受け手に分かりやすく情報を伝える活動</p> <p>ア 知識及び技能 (ア) 身近なメディアの基本的な特性とコミュニケーション手段の基本的な特徴について、その変遷を踏まえて理解すること。 (イ) 身近にある情報デザインが人や社会に果たしている役割を理解すること。 (ウ) 身近にある情報デザインから、効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法を理解し表現する基礎的な技能を身に付けること。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 身近なメディアとコミュニケーション手段の関係を捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択すること。 (イ) コミュニケーションの目的に合わせて、適切かつ効果的な情報デザインを考えること。 (ウ) 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの基本的な考え方や方法に基づいて表現し、振り返り、表現を見直すこと。</p>			
<p>C 情報通信ネットワークとデータの活用: 情報通信ネットワークを介して流通するデータに着目して、情報通信ネットワークや情報システムにより提供されるサービスを活用し、問題を知り、問題の解決に向けた活動</p> <p>ア 知識及び技能 (ア) 情報通信ネットワークの基本的な仕組みや情報セキュリティを確保するための基本的な方法について理解すること。 (イ) 身近なデータを蓄積、管理、提供する基本的な方法、情報通信ネットワークを介した情報システムによるサービスの提供に関する基本的な仕組みと特徴について理解すること。 (ウ) データを表現、蓄積するための基本的な表し方と、データを収集、整理、分析する基本的な方法について理解し、基礎的な技能を身に付けること。</p> <p>イ 思考力、判断力、表現力等 (ア) 目的や状況に応じて、情報通信ネットワークにおける情報セキュリティを確保する基本的な方法について考えること。 (イ) 情報システムが提供するサービスの効果的な活用について考えること。 (ウ) データの収集、整理、分析及び結果の表現の基本的な方法を適切に選択し、実行し、振り返り、表現を見直すこと。</p>			